



令和5年度の教育目標と 教育長・教育委員からお伝えしたいこと

磐田市教育委員会の目標

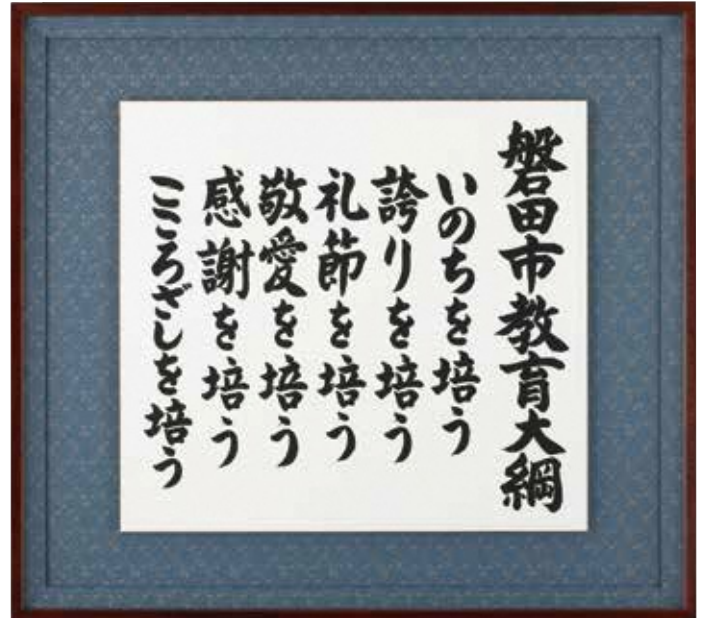
「ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民」

「子育て、教育なら磐田」と誰もが実感できるまちづくりを下記のとおり目指します。

かけがえのない命を精一杯生き、ふるさとの先人たちが築きあげた磐田の大地に根を張った人づくりの精神と伝統文化を未来へ継承し、生涯にわたり社会を生き抜く力を育成します。

さらに、学校・地域・家庭の連携・融合による学府を核とした新時代の教育コミュニティを形成し、次代の社会をつくる学びの場を創造します。

本市の未来をひらく礎となる基本理念「教育大綱」へは、「磐田の教育」道しるべ」と、子どもたちの成長を育む「磐田市子ども憲章」により進むべき方向が示されています。学校・地域・家庭への浸透を目指します。



●●● 教育長からのメッセージ ●●●

「心理的安全性」

今の時代は、VUCA（ブーカ）の時代とも称されるような、先行きが不透明で、将来の予測が困難な時代となっています。教育には、このような時代の中を「しなやかにたくましく生き抜いていく」ことのできる「人づくり」が求められています。



教育長 山本敏治

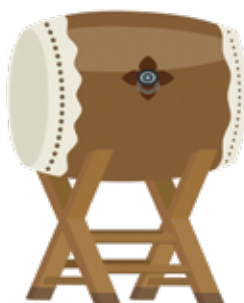
今まで磐田市では「一人一人を大切にした教育」と全国にも誇ることで「地域のカ」を基盤とし、「人づくり」を進めてきました。その中で、人と人との「つながり」や「かかわり」の深まりを通して、健やかに安心して学ぶことのできる環境づくりを目指してきました。試行導入から12年目を迎える小中一貫教育や完全実施9年目となるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、その象徴であると考えています。

人と人との「つながり」や「かかわり」を深め、安心して学ぶことのできる環境づくりの中で、私が大切であると感じていることは、一人一人が不安を感じることなく、安心して発言や行動をすることができるという「心理的安全性」です。この「心理的安全性」を感じながら、一人一人の違いを認め、多様性を尊重し合う。そして、人と人とのつながりの中で、安心して自分の考えを言い、対話や話し合いを深める。また、さまざまなことに挑戦し、失敗や試行錯誤から学ぶなど、人や社会の中での主体的な働きかけがより学びを深めていくものと考えています。この「心理的安全性」の文化の醸成を期待しています。

「磐田の教育」道しるべ

- （かけがえのない命を精一杯生きること）
- （自分のよさを誇りとし自信をもって行動すること）
- （美しい立ち居振る舞いと温かな言葉づかいをすること）
- （勤労・勤勉を喜びとすること）
- （真善美に照らし正しい判断をすること）
- （大志を抱き困難を乗り越えること）
- （敬愛の心をもち家族を大切にすること）
- （感謝の気持ちは「ありがとう」と素直に伝えること）
- （年長者を敬い年少者を慈しむこと）
- （寛大な心をもって人を愛し許すこと）
- （郷土愛をもって伝統文化の継承を行うこと）
- （宇宙自然への畏敬の念をもつこと）

平成二十六年三月策定



磐田市イメージキャラクター
ひっぴゅ
©磐田市

令和5年度磐田市教育委員会の計画体系と主要な事業

教育委員会の目標

「ふるさとを愛し 未来をひらく 心豊かな磐田市民」

方針1 子どもの「生きる力」の育成

「しなやかでたくましい磐田人」を育成するため、多様な他者と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開く「生きる力」を育みます。

施策1 魅力ある園・学校づくりの推進

学府の特色を生かした小中一貫教育、コミュニティ・スクール、GIGAスクール構想(1人1台のLTE端末を最大限活用したICT教育)、キャリア教育の推進、防災教育・交通安全教育の推進、主体性を大切に環境を通して行う保育、幼稚園等と小学校との連携推進、食育及び安全・安心な学校給食

施策2 「個」に応じたきめ細かな支援・指導の充実

市費負担教員(ふるさと先生)、教育支援員・外国人児童生徒支援員、磐田市教育支援センターにおける支援体制の充実、スクールソーシャルワーカー・心の教室相談員等(居場所づくりの推進、いじめや不登校などの個別対応)、要保護児童等対策協議会、医療機関等との連携

方針2 地域コミュニティの活用

「自らのまちは自らの手で」という意識のもと、郷土愛に満ち溢れた「人づくり・地域づくり」を推進し、地域と一体となって子どもの成長を支えます。

施策1 地域の学習資源を生かした教育活動の推進

ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦、ジュピロ磐田学校訪問、静岡ブルーレヴズホストゲーム中学生一斉観戦、伝統芸能等の「ほんもの」に触れる機会の提供、郷土や地域に関する教育、市立図書館を核とした読書活動の推進(ブックスタート事業・茶の間ひととき読書運動等)

施策2 子ども・若者を健やかに育む地域づくり

放課後児童クラブ・放課後子供教室等の児童の居場所づくり、地域連携室、部活動の地域移行(中学校部活動のあり方の検討)、磐田スポーツ部活、家庭教育出前講座、地域による子ども・若者育成支援、高校や大学等との連携した若者の育成、人権教育の推進、共生社会の確立(ジェンダー平等の推進、性の多様性に関する教育)

方針3 学びの場や環境の整備

良質な言葉に巡り合うことで、豊富な語彙により豊かな人生が送れるよう、市民が活用しやすい「学びの場や環境」の整備を推進します。

施策1 学校(園)環境の充実

学府一校校の推進、公立幼稚園・こども園の再編(一部民営化移行)、学府バスの運行、校舎や体育館等の計画的な改修・修繕、特別教室等へのエアコンの設置、学校給食の充実(地産地消、食物アレルギー対応等)

施策4 歴史遺産の整備・活用

遠江国分寺跡の整備、文化財の調査・保存・整備・活用、伝統行事の継承支援

施策2 就学のための経済的支援

就学援助費、特別支援教育就学奨励費、私立幼稚園運営費補助

施策5 生涯学習・スポーツ・文化芸術活動の環境整備

交流センター講座、「学びの師」や「学びの友」による情報提供、学びの拠点としての大学の活用、外国人に向けた日本語教育の充実、青少年を対象とした文化芸術の育成、スポーツ教室の開催

施策3 図書館サービスの向上

図書館資料・イベント・講座の充実、電子書籍サービスの推進、ボランティア等の育成

教育委員からのメッセージ

未だに収まらない新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻等諸国の対立、気候変動による自然災害の多発など難題が山積しており、どうしてこのような時代になってしまったのかと考えることも増えました。今、我々に問われているのは、未来に向かって何ができるのか、何をすべきなのかを考え、さまざまな学びや経験を通して、課題解決へ取り組む力を今まで以上に伸ばしていくことかと思えます。みんなで頑張っていきましょう。



秋元 富敏

子どもたちが「未来をひらく」ということは、自立するという。すべて自分の力で行おうとする強さと、失敗や困難に直面したときに助けてもらうことができ、しなやかに起き上がれる力を身につけることだと考えます。家族はもちろん、地域の方々や教師からあたたかく見守られているという実感は「ふるさと」を想うことにつながり、変わりゆく世の中に対応していくパワーとなり、穏やかで優しい「心豊かな」大人となることでしょう。



鈴木 好美

「吐く」という字は、口にプラス・マイナスと書く。いい事も悪いこともどんだん言葉に出してしゃべる。そこで、本当に成功する人は弱音を吐かなくなる。弱音はマイナスのことなので、マイナスのことを吐かなくなる。そうすると、弱音を吐いていたのが、プラスのことだけを言うようになる。「吐く」からマイナス(-)をとる。そうすると夢は「吐く」んだ。 コルゴ松本著「あつ!命の授業」より
つらい時は自分で抱え込まず、すべて吐き出し、前向きに走り出しましょう。夢は必ず叶います。



大橋 弘和

ここ数年さまざまな活動が制限された日々の中でも、子どもたちが工夫しながら、精一杯この時代を過ごす姿を身近で見えました。そして、あらためて「人と人との関わりや繋がりを広げ、深める場を作ること」「子どもたちがやりたいこと、興味を持ったことに挑戦できる環境を整え、見守ること」が、私たち大人の役目だと感じています。子どもたちの可能性や育つ力を、信じて見守る一番身近な大人でありたいですね。



阿部 麻衣子

磐田市教育委員会から皆様へ これまでしてきたこと、していること、これからのこと (令和5年4月現在)

1. これまでに進めてきた主な事業

(1) 教育施策と学校教育

- ①小中学校への「ふるさと先生」の配置～市費負担教員による35人学級の実現～(H19～H29)
- ②「ふるさと礎プラン」～校長経験者4人による若手教員へのサポート体制の構築～(H19～)
- ③学校(福田中・豊浜小・竜洋東小)校舎屋上への津波避難階段の設置(H24)
- ④小中一貫教育を全10学府(中学校区)で実施(H24～段階的に、H28～全学府で実施)
- ⑤校務支援システム(H24指導要録・通信票・出席簿等、H30超過在校時間の管理)を導入
- ⑥小1～中3までの「英語」モデルカリキュラム作成(H25)
- ⑦全小中学校の校舎耐震化(H26)
- ⑧全小中学校にコミュニティスクール導入(H27～)
- ⑨食物アレルギー対応の充実(H24～段階的に実施)
- ⑩LD(学習障害)等通級指導教室の中学校への拡充(H30～)
- ⑪学校体育館照明LED化、トイレ暖房便座化、普通教室エアコン設置(H30～R1)
- ⑫磐田なかよしこども園の開設(H30)
- ⑬大型モニター・書画カメラを小・中学校全学級へ導入(H29～R2)
- ⑭学校給食の地産地消
- ⑮ながふじ学府小中一体校開校(R3)
- ⑯岩田こども園の民営化(R3)
- ⑰GIGAスクール構想下における1人1台端末の整備(R3)
- ⑱放課後児童クラブの拡充(R5:51クラブ)



放課後児童クラブ



園児の運動会の様子

(2) 図書館と文化財

- ①ブックスタート事業・茶の間ひととき読書運動
- ②デジタルデータベース閲覧サービス提供
- ③電子図書館による貸出サービス開始(H29～)
- ④学校と連携した「ながふじ図書館」の運営(R3～)
- ⑤図書館公式Instagram、LINEアカウントの開設
- ⑥セルフ貸出機、ICタグ関連機器の導入(R4)
- ⑦訪問歴史教室や施設見学・講座の開催
- ⑧指定文化財保存事業(調査及び指定、民俗文化財の映像化)
- ⑨文化財保存活用地域計画の作成(R1～R3)



福田図書館開館20周年記念コンサート

(3) 生涯学習活動

- ①家庭教育出前講演会の開催
- ②中学生及び青年リーダー育成講座の実施
- ③成人式「二十歳の集い」の開催(R4)
- ④趣味やビジネスでつながる「30s祭」(さんじゅっさい)の開催
- ⑤学習交流センターの開放
- ⑥磐田市民文化会館「かたりあ」のオープン(R4)
- ⑦文化芸術の子ども向け公演
- ⑧ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦(H23～)
- ⑨人権教育の推進に関する講演会・講座の開催



ジュピロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦

2. 現在進めている主な事業

- ① 学府の特色を生かした小中一貫教育の充実
- ② 地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクールの推進)
- ③ GIGAスクール構想(1人1台端末)による個別最適・協働的な学びの充実
- ④ 「ふるさと先生」の配置(小中一貫教育の推進と生徒指導の充実)及びふるさと礎プランの実施(若手教員へのサポート体制)
- ⑤ 英語を使ったコミュニケーション能力の育成(S.P.E.A.Kプロジェクト、e-S.P.E.A.Kプロジェクト、「英語」モデルカリキュラムとモジュール学習)
- ⑥ 子どもへのきめ細かな支援(教育支援員・介助員の配置、外国人児童生徒支援の拡充、心の教室相談員の配置、磐田市教育支援センター(あすなろ)の設置、スクールソーシャルワーカーの配置)
- ⑦ 子どもの自由な学びを応援する事業(本物の「人」「もの」「こと」に触れる機会の創出)
- ⑧ そろばん学習・道徳・食育学習・プログラミング教育・国際理解教育
- ⑨ 向陽学府小中一体校整備の推進
- ⑩ 小中学校の施設整備(屋上防水改修・トイレ改修・エアコン設置)
- ⑪ 放課後児童クラブの待機児童解消に向けた取組み
- ⑫ 給食材料への地産地消の拡大
- ⑬ 調理場設備の充実
- ⑭ 図書館におけるDXの推進
- ⑮ 電子書籍サービスの充実
- ⑯ 読み聞かせ等ボランティア、視覚障害者サービス協力員の育成
- ⑰ 遠江国分寺跡(国の特別史跡)の整備
- ⑱ 旧日付学校附磐田文庫(国の史跡)保存活用計画の作成
- ⑲ 開発行為に伴う遺跡の発掘調査及び整理作業
- ⑳ 歴史文書館企画展、古文書ボランティアの古文書解読作業



中学生の部活動



e-S.P.E.A.K in Ryuyo

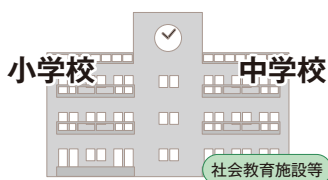


国分寺再整備イメージ図

3. これからの課題

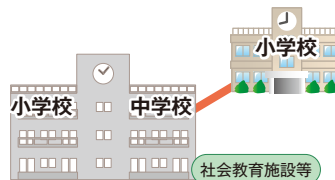
- ① 学府一体校の推進

未来型学府一体校(A型)



☆各学府にある小学校と中学校をすべて、施設一体型として一つの敷地に設置するもの

向上型学府一体校(B型)



☆学府内に施設一体型の小中学校と既存施設で運営する小学校が存在するもの

充実型学府一体校(C型)



☆既存施設のまま小中一貫教育を推進し、社会教育施設を含むもの

- ② 幼児教育と学校教育の一層の理解に基づいた円滑な接続の推進
- ③ 図書館資料の充実と中高生・高齢者の利用の促進
- ④ 文化財関連施設・史跡等の適切な維持管理と利活用の推進
- ⑤ 学校給食施設のあり方の検討
- ⑥ いじめや不登校などへの「学校風土調査」等を利用した対応
- ⑦ 子どものニーズに応じた休日の部活動の地域移行の検討
- ⑧ 特別支援学校を核とした特別支援教育のあり方の検討

編集／磐田市教育委員会事務局
 教育部教育総務課
 〒438-8650 静岡県磐田市国府台3-1
 TEL.0538-37-4821 FAX.0538-36-1517
 kyoikusomu@city.iwata.lg.jp
 発行／令和5年4月

⇒ 生きる力を育み、「しなやかでたくましい磐田人」を育てます